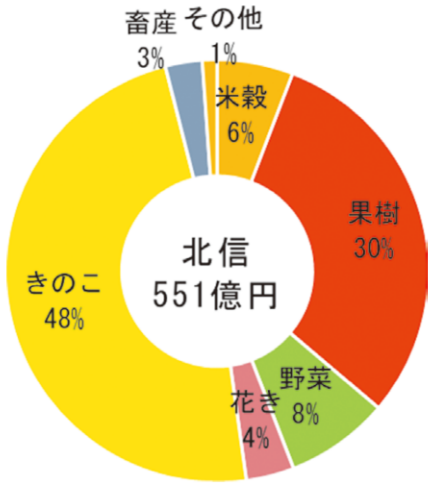


**北信地域の発展方向** 中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村  
野沢温泉村、栄村

**未来につなげ！ 人と地域が織りなす 北信州の食と農**

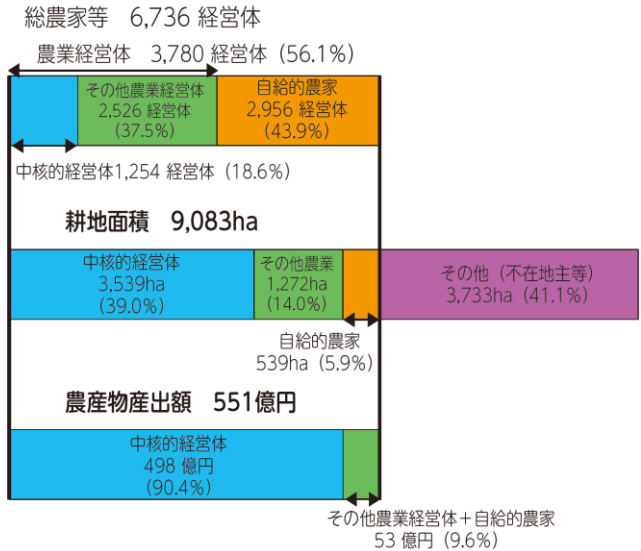
**農業・農村の特徴**

管内は、全国有数の豪雪地帯であり、えのきたけ等のきのこ、りんご・ぶどう・もも等の果樹、良食味の米、アスパラガス等の野菜、シャクヤク等の花き、肉用牛等の畜産など、気候や起伏に富んだ地形を生かした農業が展開されており、特に近年はぶどうの生産拡大が進んでいます。



農産物産出額【2020年産】  
(農林水産省「農林業センサス」、「生産農業所得統計」、  
「市町村別農業産出額(推計)」2020年を基に推計)

【2020年】(2020農林業センサスから推計)



**めざす姿**

**I 皆が憧れ、稼げる北信の農業**

- 適切な農地利用計画に基づいた農地の利用集積と有効利用が図られ、品目や地域条件に適したスマート農業技術の現地実装が進み、環境にやさしい農業が地域ぐるみで展開されています。
- 地域の厳選食材が、県内外に広く認知され、継続して安定的に取引が拡大しています。
- 多様な農業経営に対応した農地・農業用施設の整備が進んでいます。

**II しあわせで豊かな暮らしを実現する北信の農村**

- 半農半Xをはじめとする多様な担い手や福祉など他分野との連携により、地域農業が支えられています。
- 豪雨による湛水被害から農村を守る施設の強化や地すべり防止施設の長寿命化が図られています。
- 農業施設の管理を担う土地改良区の体制が強化されています。
- 農業者をはじめ多様な人材が、地域ぐるみで農地・農業用施設の維持に取り組んでいます。
- 棚田、農業用ため池、農業用水などが持つ特性が、観光・学習、エネルギー創出などに活用され地域が活力にあふれています。



### Ⅲ 魅力あふれる北信の食

- 産地と実需者・流通業者との強い信頼関係が構築され、多様なマーケットニーズに対応した流通・販売が行われるとともに、SDGs やエシカル消費など新たな価値観への関心の高まりにより、地産地消の取組が拡大しています。
- 生産者や関係事業者と連携・協力した食育や農業体験を通じ、学校給食や福祉施設などで地域食材が多く活用されています。

## 施策の展開方向

### I 皆が憧れ、稼げる北信の農業

#### 重点取組 1 人材の確保と皆が憧れる経営体の育成

農業者の高齢化や担い手不足による生産力の低下が懸念されます。めざす姿の実現に向け、地域農業をけん引する中核的経営体の育成と、新規就農者、女性農業者、定年帰農者など多様な担い手や雇用労働力の確保を進めます。

#### 【達成指標】

項目	2021 年度 (現状)	2027 年度 (目標)
中核的経営体数	1,219 経営体	1,250 経営体
新規就農者数 (49 歳以下)	20 人/年	31 人/年

#### 【具体的な施策展開】

- 農業経営者総合サポート事業等の活用による中核的経営体の経営発展への支援
- 「北信州農業道場」等による新規就農者育成と多様な担い手の確保
- 担い手の経営を支える雇用労働力の確保に向けた支援
- 地域農業を支える多様な担い手の生産設備整備等の支援



【北信州農業道場：先進農家に学ぶ】

#### 重点取組 2 環境にやさしい農業の取組とデジタル技術等の活用

スマート農業等新技術の活用や、農業者の高い技術力と経営力による生産効率の高い営農と、有機農業や減化学合成農薬・減化学肥料による環境にやさしい農業など環境負荷低減の取組を進めます。

#### 【達成指標】

項目	2021 年度 (現状)	2027 年度 (目標)
化学合成農薬・化学肥料を原則 50% 以上削減した栽培や有機農業に取り組む面積	401 ha	610 ha
農業用ドローンによる防除面積	45.2 ha	70 ha

### 【具体的な施策展開】

- 環境負荷を低減した環境にやさしい農業の推進と安全安心な農畜産物生産への支援
- スマート農業等の推進による生産性向上とコスト低減への支援



【農業用ドローンによるリモートセンシング】

## 重点取組 3 マーケットニーズに対応した北信の農畜産物の生産強化

きのこをはじめ、良食味米、高品質で多彩な果樹、アスパラガスとシャクヤクも全国有数の産地として知られています。また、牛肉・豚肉も地域ブランドとなっており、いずれも市場から高い評価を受けています。

今後、更なる産地力強化に向け、マーケットニーズに対応できる産地づくりを進めます。

### 【達成指標】

項目	2021年度 (現状)	2027年度 (目標)
果樹県オリジナル品種等 <sup>*1</sup> の栽培面積	460 ha	620 ha
野菜・花き振興品目 <sup>*2</sup> の栽培面積	598 ha	670 ha

※1：北信地域で対象とする品種は、りんご：「シナノドルチェ」、「シナノリップ」、「秋映」、「シナノスイート」、「シナノゴールド」、ぶどう：「ナガノパープル」、「クイーンルージュ<sup>®</sup>」、「シャインマスカット」、すもも：「シナノパール」

※2：北信地域での振興品目は、野菜：アスパラガス、ズッキーニ、白ねぎ、きゅうり、花き：シャクヤク、トルコギキョウ

### 【具体的な施策展開】

- 需要に応じた米生産を基本に、良食味米や業務用米・酒米の安定生産と収益性の高い米生産を推進
- 果樹の県オリジナル品種等の生産拡大と高位安定生産を推進
- 野菜・花き振興品目の生産を推進
- きのこの栽培環境対策と異物混入の防止及びGAP手法に基づく衛生管理基準の強化
- 家畜の飼養衛生管理及び危機管理体制の強化
- 海外市場も視野に入れた農産物生産と施設整備等への支援



【クイーンルージュ<sup>®</sup>の栽培検討会】

## II しあわせで豊かな暮らしを実現する北信の農村

### 重点取組 4 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

「地域計画」等による農地の利用を進めるとともに、多様な人々が「農」に関わる体制づくりや、農地、水路などを保全し、農業生産活動を継続するための共同活動を支援します。

また、棚田や農業用ため池などを観光や地域学習に活用するなど、地域ならではの資源を生かした様々な取組を進めます。



【達成指標】

項目	2021年度 (現状)	2027年度 (目標)
地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	4,266 ha	4,200 ha

【具体的な施策展開】

- 「地域計画」に基づく適切な農地利用
- 地域ぐるみで取り組む多面的機能の維持
- 美しい棚田や起伏のある地形から生まれる農業用水のもつポテンシャルなど地域資源を生かした農村の活力創出
- 地域特性を生かした「農ある」移住の受け入れ体制の整備支援
- 野生鳥獣被害の実態に応じて総合的に実施する地域ぐるみの被害防止対策を、関係機関連携により支援
- 雪室等地域資源を活用した農産物の高付加価値化の取組を支援



【地域ぐるみの水路保全活動】

重点取組5 安全安心で持続可能な農業・農村の基盤づくり

収益性の高い果樹産地を支える畑地かんがい施設、良食味米産地での区画整理が進んでいますが、整備後相当年数を経過していることから、施設の長寿命化を進めます。

また、令和元年東日本台風災害や長野県北部地震など大規模な自然災害が発生しており、災害に強い農村づくりを支援します。

【達成指標】

項目	2021年度 (現状)	2027年度 (目標)
農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	4 か所	9 か所
湛水被害から農村を守る排水機場のポンプ設備の更新機数	—	4 機

【具体的な施策展開】

- 農産物の安定生産と品質確保に必要な農業用排水施設と畑地かんがい施設の計画的な長寿命化
- 頻発化・激甚化する災害から暮らしを守る農業・農村の強靱化
- 農業用ため池などを活用した流域治水対策への支援
- 人口減少社会に対応した農業施設の更新と施設の維持管理を担う人材の育成
- 「地域計画」に基づいた稼ぐ産地を支える基盤整備の推進
- 中山間地域など地域の実状に応じたきめ細かな基盤整備の推進



【湛水被害から農村を守る木島第一排水機場】

### Ⅲ 魅力あふれる北信の食

#### 重点取組 6 食の地産地消の推進と次代への伝承

農畜産物の更なる利用促進を図るため、農産物直売所や観光業等と連携し、情報発信力を強化します。

また、地域の風土・伝統・食文化等を県内外に発信し、つながり人口の増加を図るほか、食育等により食の伝承を進めるとともに、エシカル消費等による地産地消を推進します。

##### 【達成指標】

項目	2021 年度 (現状)	2027 年度 (目標)
農産物直売所の売上高	18.3 億円	23 億円

##### 【具体的な施策展開】

- 地域農畜産物の販売拠点となる農産物直売所の情報発信力強化を支援
- 飲食店・宿泊施設等関係事業者と連携した地域食材を提供する機会の拡大
- 郷土食の伝承や地域・産地の魅力を伝える交流活動等を支援
- 学校や地域において、次代を担う子供たちを中心に食育を推進



【高校生による伝統野菜のレシピ開発】